

せら定期巡回・随時対応型訪問介護看護 令和6年第1回介護・医療連携推進会議議事録

日時：2024年5月9日(木)10:30~11:30

場所：本郷二村ビル5階

参加者：別紙参照

●現況概要報告

利用者男女別：男9女11

介護度：平均3.55 介護度4・5が多い 介護度1もいる。

介護度が高いほど、訪問件数も増える。

地域：本郷が多いが、大塚や小日向も増加傾向

外部ケアマネジャー（以後、外マネ）3名

疾患：脳血管系疾患多い、糖尿病、高血圧など

利用者推移：徐々に増加 現在20名

●4/30 本富士で勉強会報告

対象：地域包括の職員

資料：サービスの概要と適応者の説明、質疑応答

一体型と連携型の違い・特色：一体型は介護と看護の連携がスムーズ

訪問看護が当事業所だった場合は、看護師の変更を伴わないためスムーズに導入可能。

看護・介護一体型グッドライフが実施している。

認知症専門ケア加算算定要件：来年認知症認定看護師の有資格者ができるため、加算要件満たす予定。

訪問時間：ケアを分けて実施。それ以上の時間を超えるところは自費で対応。

緊急時の対応や、訪問回数増回の対応：退院時など必要な時対応できる。

介護職員常勤換算7.2人、利用者20名に対し看護師2.7名、スタッフ3名で対応するという要件満たしている。

地域：文京区内であれば本郷から距離的に離れていても対応可。

自己都合による外出は定巡で対応できないため、自費（4,000程度）で対応している。

●質疑応答・感想

・外マネの利用感想：きめ細かに対応してもらっていて助かる。

・内マネの利用感想：重度や退院時すぐに対応してもらえたので、便利だった。その後、状態落ち着いた場合は、定巡の利用を卒業される方もいる。家族の印象もよい。訪問予定の抜けが生じてしまった失敗もあった。→事業所としては、ミスが生じた場合は、事業所内利用のメッセージアプリを使用して、すぐに対応している。

・入浴：20分以内ということで、シャワー浴で対応。ゆっくり浴槽に入りたい方は、デイサービスでの入浴を提案している。

・夜間：現在最終訪問は夜10時。朝方、家族に開錠頼まなければならない。明け方3、4時に排泄される

ために、ご本人が動き始めて家族の負担増大したため、施設入所になってしまったケースもあった。ご本人の明け方排泄介助をすることが必要なのか、家族の負担を配慮していくか検討が必要。

- ・排便ケア：定期の訪問で対応。その他は臨時訪問で対応。
- ・定巡の理解・認知度向上：定巡をやっている事業者を把握しているが、説明会を受けるまでは具体的に認知できていなかった。先日の本富士での説明会は質問できてよかった。介護保険を持っていない人の相談が多い。看護と介護、どちらの対象か判断しがたいケースには、一体型の定巡サービスは便利。
- ・看護・介護必要度：病状が安定されている方は、看護師月1回のモニタリングのみでもよい。その方の必要に応じて回数を検討している。
- ・定巡と特指示の併用：退院直後は特指示（医療保険）で2週間、看護師が頻回に訪問し生活を組み立てていける。外へ発信していくことが必要。
- ・退院：地域に戻ることが無理ではなく、この定巡の制度を利用して試して欲しいと思う。実際2週間頻回に吸引が必要だった方が、その間に状態が落ち着き、定巡の利用を終了した方もいる。独居高齢者にも利用が可能である。本人が帰りたいと思っているのであれば、ぜひ定巡利用してもらいたい。
- ・状態が悪化したときこそ、定巡利用が適している。（特指示2週間）
- ・介護認定が出る前でも特指示で介入できる。
- ・ケアマネより質問：連日訪問看護の利用のみで介護保険内で対応できている方。家族の療養が必要な状態だが、レスパイトの利用は拒否。家族が入院治療する期間のみ、定巡を利用する事も可能か。→可能。
- ・定巡は、日割り計算で請求できる。必要な期間だけでも利用可能。ただし、ご本人とご家族が定巡の利用を受け入れていることが必要。盲・聾者でも対応可能。
- ・定期巡回制度創設の理念：資料1ページ下部参照。自立した日常生活を営むことを可能にする。してあげるサービスではない。ご本人のできる能力をケア者が摘んでしまわないということが、けせらの大切にしていること。
- ・病院のケアを在宅に持ち込むのではなく、自宅で普通に生活すれば解消する問題（輸液による吸引回数の増加）がある。まず、やってみよう、任せてみようと思ってもらいたい。
- ・地域から（町会長様）：町会ではお祭りの話題のみ。そして、現場の困り事は沢山あるはずなのに中々でてこず、自宅介護の話は、ご本人が逝去して全て終わってから実態がわかる事が多い様に思う。介護の最中に、周囲に相談してほしい。
- ・制度の仕組みだけでなく、実際にどの様なサービスをどの様に利用できるのかイメージできるような説明会ができると良い。
- ・区内遠方の利用者が少ない：大塚や小日向のケアマネにけせらの定巡の認知が進んでいる過程にあるのでは。大塚や小日向の利用者が増えれば、効率的に訪問予定組むことができる。けせらが遠方だと躊躇せずに、問い合わせしてほしい。
- ・一度ケアマネが定巡を利用すれば、良さが分かるのでは。

11/14 定巡会議予定。